

題　　言

識者 の 輿論 に 共鳴す

文字と圖表のみの雑誌を呈する事は工事畫報として多少躊躇する處であるが、多數の識者は相一致して現在實行のコンクリート工事の改善を力説されるので、工事畫報も之を工事界の輿論と認め爰に二回に渡り全誌を提供するに至つた。

本號をコンクリート工事基本智識號とし、次號をコンクリート工事研究實例號とする。

コンクリートの基本智識を強調す

先づセメントとコンクリートの基本智識を頭に入れなければ混擬土の一切の問題は分らない、セメントは日に月に進歩しつゝある、コンクリートも之に應じて改良しなければならぬ、舊き教科書を何時迄も固守するは最も危険な事である。

本號は一流大家の最新研究になるコンクリート智識を通俗平易に特輯したもので一種の誌上講演會である。

超 高 級 セ メ ン ト

超高級セメントは今や各セメント會社で殆んど競争的に製品を急いでゐる。専門研究家の長屋修吉氏は世界の工事界の趨勢は近く全部之を使用するに至るであらうと斷言された。

强度が同じで價格も大差なく然も仕事は數倍も速いのであるから當然な歸結である。

實 行 の 前 に 先 づ

現代人はコンクリートに餘り馴れすぎた、阿部博士は曰く「所謂有識者なるものがコンクリートに情してゐる」こと、況んや無識者なる者に於てをや、其原因は何であるか、其所に種々なる困難がある。

然し實行困難を嘆する前に先づ第一にコンクリートを能く知る事である。能く知れば實行の機會も又油然として來るに相違ない。

コンクリート字引

多くの場合分り難い熟語のある爲めに其道の發達を妨げる事があるから、本號に小頁を當てコンクリート字引を掲載した、コンクリートの基本智識の内に度々使用せらるゝ専門語を平易通俗に解説したものである。

故に、學術的に譯語を統一したものではなく、工事關係の若い人に早く理解して貰い度いのみである。